様式第４号

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	ララオカヤ施設管理事業			コード	21206
２ 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者 佐藤　嘉泰

３ 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち	
		政　策	産業の振興	施　策 商業の振興
	予算科目	岡谷駅前再開発ビル管理事業費	業務委託	一部委託
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	設置条例	岡谷市ララチャレンジ広場設置要綱		

●事業の内容（DO）

４ 施設の概要・設置目的

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要（簡潔に）		施設の維持管理
目的	対象者	施設利用者
	意　図	利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切な維持管理を行う。

５ 施設の管理運営状況

指定管理者		28年度指定管理料	円
施設における通常業務	ララオカヤ管理組合事務局業務及び市保有床の賃貸借		
事業の実施内容	（28年度に施設で行った運営事業・自主事業など） 施設維持管理業務（管理組合事務局） チャレンジ広場の管理運営をＮＰＯ法人維新塾へ委託 チャレンジ広場（レンタルボックス、イベント広場）活用の推進 テナント使用料、チャレンジ広場使用料等の徴収		
前年度の課題への対応	岡谷駅前地区調査検討事業において、駅前地区のあり方を総合的に検討する（継続中）		

６ 施設の利用状況

＊①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力）　＊②・③はどちらかの欄に記入　＊

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.3%	
年間開設日数（日）	352	353	352	352
１日の開設時間（時間）	9	9	9	9
年間利用可能時間（時間）	3,168	3,177	3,168	3,168
年間利用実績（時間）	3,168	3,177	3,177	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	1,707	1,860	1,858	1,815
有料利用件数	1,689	1,845	1,842	1,800
無料利用件数	0	0	0	0
減免措置件数	18	15	16	15
④ １日あたり利用者数、件数	4.8	5.3	5.3	5.2
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		58,569,031	57,076,185	56,123,798	57,697,000
経常経費		58,569,031	57,076,185	56,123,798	57,697,000
臨時的経費		0	0	0	0
＊臨時的経費の説明					

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000
正規職員の人数（人）		0.76	0.76	0.76	0.76
③ 合計コスト（①＋②）		64,649,031	63,156,185	62,203,798	63,777,000
前年度比			97.7%	98.5%	102.5%
財源内訳	一般財源	46,995,544	45,746,348	45,328,336	48,553,000
	特定財源	17,653,487	17,409,837	16,875,462	15,224,000
＊特定財源の説明					
④ 施設使用料年間収入額		17,653,487	17,409,837	16,875,462	15,224,000
⑤ 年間減免措置額		254,520	208,080	135,360	200,000
⑥ 受益者負担割合		30.6%	30.9%	30.3%	26.7%
⑦ 活動一単位あたりコスト		37,873	33,955	33,479	
前年度比			89.7%	98.6%	
⑧ コストに関する補足説明					

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　妥当性　標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。		0
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		0

9 有効性評価

＊有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。　有効性　低い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		0
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。　１日あたり利用者数、件数　前年度比　100.2%	1	
⑤ 施設使用料収入が増加した。　施設使用料年間収入額　前年度比　96.9%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること） ララオカヤビルを中心とする駅前地区のあり方を調査検討中のため、現状を維持していくための修繕しかできない状況である。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 駅前地区やララオカヤビルの調査検討するなかで方針付けが必要である。
改善開始時期	未定

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B

13 大規模修繕の予定

予定事業費	0 円	予定時期	未定
内容	未定		

様式第４号ー附表

平成28年度決算

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	21206	ララオカヤ施設管理事業

１ 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費	279,804		279,804	消耗品
役務費	62,513		62,513	火災保険料
委託料	8,210,160		8,210,160	
使用料及び賃借料	51,840		51,840	インターネット使用料
負担金補助及び交付金	47,519,481		47,519,481	共益費負担金
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	56,123,798	0	56,123,798	

２ 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	0.76		0.76	人
合　計	6,080,000	0	6,080,000	円

３ 特定収入

単位：円

項　目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
財産使用料	8,367,389		8,367,389	テナント使用料
テナント実費徴収金	8,508,073		8,508,073	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	16,875,462	0	16,875,462	

４ 一般財源

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計
合　計	45,328,336	0	45,328,336

平成28年度決算

施設の運営コスト計算シート

事業名	21206	ララオカヤ施設管理事業

１ 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	0	0	0	

２ 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数			0.00	人
合　計	0	0	0	円

３ 特定収入

単位：円

項　目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	0	0	0	

４ 一般財源

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計
合　計	0	0	0